

P2~3 公共施設のミライ、検討しています

P4~5 本庁舎建替事業、いよいよ設計へ

P6~7 あらたな学校給食センターの  
検討を進めています

P8 公共施設のミライについて  
市民の皆さんと検討を進めています



多摩市では、次の世代へ持続可能なまちを引き継いでいくため、「公共施設のミライ」について、市民の皆さんの声をもとに検討を進めています。公共施設は、日々の暮らしを支える身近な存在であると同時に、防災や子育て、健幸づくりなど、地域にとって欠かすことのできない役割を担っています。

人口減少や社会環境の変化が進む中、こうした役割を将来にわたって果たしていくためには、さまざまな人がいろいろな使い方をできるようにし、公共施設という「場」をシェアできるようにするなど、公共施設のあり方を見直していく必要があると考えています。

本号では、現在策定に向けて検討を進めているアセットマネジメント計画をはじめ、市役所本庁舎の建替えや学校給食センターの整備など、ミライに向けた取組みについてお知らせします。

今後も、市民の皆さんとの対話を大切にしながら、みんなで「シェアするまちづくり」を着実に進めてまいります。

多摩市長 阿部 裕行

# 公共施設のミライ、検討しています～みんなでシェアするまちづくり～

【問合せ】  
行政管理課  
☎042-338-6948

## アセットマネジメント計画策定に向け、市民の皆さんとともに

多摩市では、健康寿命が都内トップレベルなどの強みをミライへつなぐため、少子化・高齢化や気候変動などの変化を見すえつつ、更新時期を迎える公共施設への計画的な対応に向け、アセットマネジメント計画の策定・検討を進めています。本計画には皆さんの想いを反映するため、アンケートや市民フォーラムを行ってきました。今回は、その声の一部をご紹介します。

### 市民アンケートについて

公共施設のミライを市民の皆さんとともに考えるため、アンケート調査を実施しました。年代によって重視する点は異なりますが、「防災」「子ども・健康」「使いやすさ」を大切にしたいという共通した声が多く寄せられました。

防災機能は充実させてほしい

オンライン手続き等をはじめとした行政サービスを見直してほしい

- 子どもが安心して過ごせる場所が、もっとふえたらうれしいな
- 勉強やサークルなど、いろいろなことに使える施設が近くにあるといいな
- スマホやパソコンで手続きがカンタンにできたら助かるな

子育て支援を充実させてほしいな

子どもが気軽に居場所が欲しい

- もしものときにみんなを守ってくれる防災力がしっかりあると安心だな
- 子育てや学び直しにも使える、多目的な施設が身近にあるといいな
- 駅の近くにまとまっていて、行きやすくなるといいと思います

健康促進や福祉機能を充実させた施設がほしい

- 健康づくりや福祉の相談ができる、気軽に行ける場所があるとうれしい
- 家の近くで安心して集まれる場所がいつも開いていると安心だね
- 段差が少なく休憩できるイスもあるようなやさしい施設だとうれしいよ

※2025(令和7)年3/18～4/8実施 回答数649/回答率21.6% 層化無作為抽出3,000人、郵送配布・Web回答

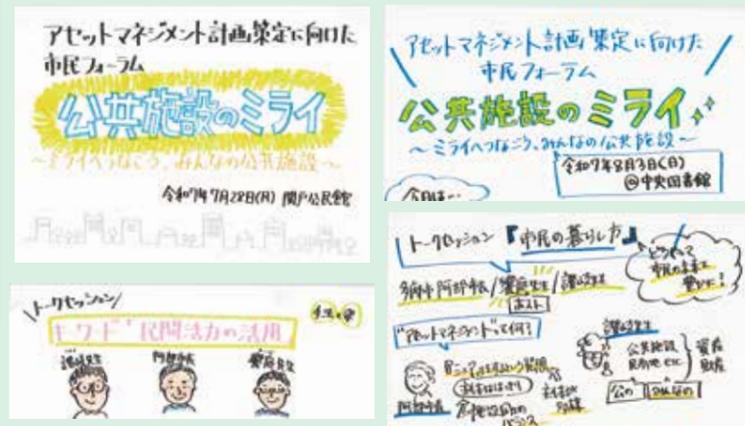
## 市民フォーラム「公共施設のミライ」を開催しました

公共施設のサービスや機能をミライにつなげていくためにはどうしていくべきか、市民の皆さんとともに考えていくため、有識者をお招きして昨年夏に市民フォーラムを開催しました。

ご参加いただいた皆さんから、「持続可能なまちを次の世代につなげるために、施設の多機能化、複合化が必須」といったご意見、都立大の饗庭教授から「各地域での市民参加と議論を大切に、地域に応じた最適な施設のあり方を追求していくことが必要。」、同大讃岐助教から「公民連携等の新たな発想を取り入れる設計・運営も考えながら、若者もワクワクできる公共施設やサービスを議論したい」といったお話をいただきました。これらのご意見を踏まえ、検討を進めています。



市民フォーラムで使用した資料等は左のQRコードから、市公式サイトをご覧ください。



市では、アンケートや市民フォーラムで寄せられた声を大切にしながら、公共施設をこれからどう使い、どう引き継いでいくかについて、新しい計画づくりを進めています。

この計画は、2040年代の多摩市を見すえ、暮らしを支える公共サービスや施設のあり方を考えるものです。多摩市と市民の皆さんの将来に向け、暮らしを豊かに楽しく持続可能にするみんなでシェアするまちづくりを進めていきます。

## ～2040年代の多摩市～



暮らしを豊かに楽しく 持続可能にする  
みんなでシェアするまちづくり

## さらに議論を深めていきます

これまでいただいたご意見を踏まえ、アセットマネジメント計画の検討を進めていきます。今後は、市民説明会を通じて皆さんに計画についてお知らせしていくとともに、パブリックコメント等を通じて広く意見を募集します。市民の皆さんと対話を重ねながら、地域に合った公共施設のあり方を具体化していきます。



2026(令和8)年春  
庁内検討・素案策定

2026(令和8)年夏  
市民説明会・パブコメ実施

2026(令和8)年秋  
新計画スタート

## 「市民の暮らしを支え、多摩市の安全を守るための市役所」へ

多摩市役所本庁舎は、古い棟では築56年が経過し、老朽化や耐震性、施設の手狭さなどの課題があります。市民の皆さんに、これからも安心して市役所を利用していただけるよう、より良い市民サービスの提供と課題の解決を目指して、本庁舎の建替えを進めています。

### 建替計画は、こうして進んでいます

本庁舎の建替えについては、「市民の暮らしを支え、多摩市の安全を守る拠点としての持続可能な本庁舎」を目指す姿として定め、その基本的な考え方をまとめた「多摩市役所本庁舎建替基本構想」を2023(令和5)年2月に決定しました。その後、2024(令和6)年11月には、新庁舎に求められる具体的な機能や施設のあり方、事業の進め方などを整理した「多摩市役所本庁舎建替基本計画」を決定しました。新庁舎は、耐震性に優れた建物とするとともに、省エネルギーやユニバーサルデザインにも配慮し、市民サービスのさらなる向上を目指します。2032(令和14)年度の新庁舎供用開始に向けて、2026(令和8)年度からは、建物の配置や構造、レイアウトなどを検討する基本設計が始まる予定です。



### 新庁舎になると・・・

#### 災害時に、より市民とまちを守る市役所を目指します！

新庁舎は、免震構造や非常用発電設備など、しっかりとした防災性能を備え、災害時にも業務を継続するとともに、災害対応の指令拠点として市民とまちの安全を守ります。

#### 新庁舎周辺も防災性の向上を目指した基盤整備を実施します！

市役所周辺についても、防災性の高い基盤を整備するために、土地区画整理事業を組み合わせ道路の再整備、土砂災害特別警戒区域の解消、無電柱化などを実施します。

#### 行かなくてよい市役所を目指します！

新庁舎整備にあたり、いつでも、どこでも、サービスが受けられるようにすることを目指す取組みとして、本庁舎まで「行かなくてよい市役所」を目指しています。そのために3つの取組みを進めていきます。

##### 駅近機能

本庁舎と出張所等との間をオンラインでつなぎ、ビデオ会議システムを通じて行政手続や相談を行う窓口です。

新庁舎の供用開始にあわせて、駅近機能を順次整備します(施設により、適正な機能・規模を判断することとします)。

##### オンライン(自宅等)

ご自身のスマホやPCなどで、行政手続ができる環境を優先的に整備します。

##### 市役所(本庁舎)

オンライン化の進展や業務効率化などにより、人的リソースを生み出すことで、相談業務などのきめ細やかな業務にシフトさせていきます。

あわせて、質の高い行政サービスの提供に向けた取組や体制確保を進めていきます。

#### 誰にとってもわかりやすく安心して利用できる市役所を目指します！

「ワンフロア型窓口」「ワンストップ型窓口」を組み合わせた窓口や、「書かない窓口」など誰もが利用しやすい窓口の導入を検討しています。また、利用者の動線等を考慮し、直感的でわかりやすいサイン計画や音声誘導装置などを検討します。

「多摩市福祉のまちづくり整備要綱」、「東京都福祉のまちづくり条例」、「東京都の建築物バリアフリー条例」及び「都立建築物のユニバーサルデザイン導入ガイドライン」に基づき、高齢者や障がい者などに配慮したバリアフリー化やすべての人にとって使いやすい本庁舎を目指します。

#### 環境にやさしい市役所を目指します！

多摩市における脱炭素の取組みをリードし後押しすることができるよう、環境にやさしい、サステイナブルな施設を目指します。日射対策や自然通風・自然採光の積極的な活用など省エネルギー化を図ると共に、再生エネルギーの最大限の導入を目指します。



本庁舎建替事業の進捗等については、  
市公式HP等で  
随時お知らせしていきます。



# あらたな学校給食センターの検討を進めています

【問合せ】  
学校給食センター  
☎042-371-2416

給食は、子どもたちの健やかな成長を支える大切な存在です。  
将来にわたって質と安全性を守り、安定した学校給食を提供するための検討を進めています。

## 学校給食センターの役割と現在の体制

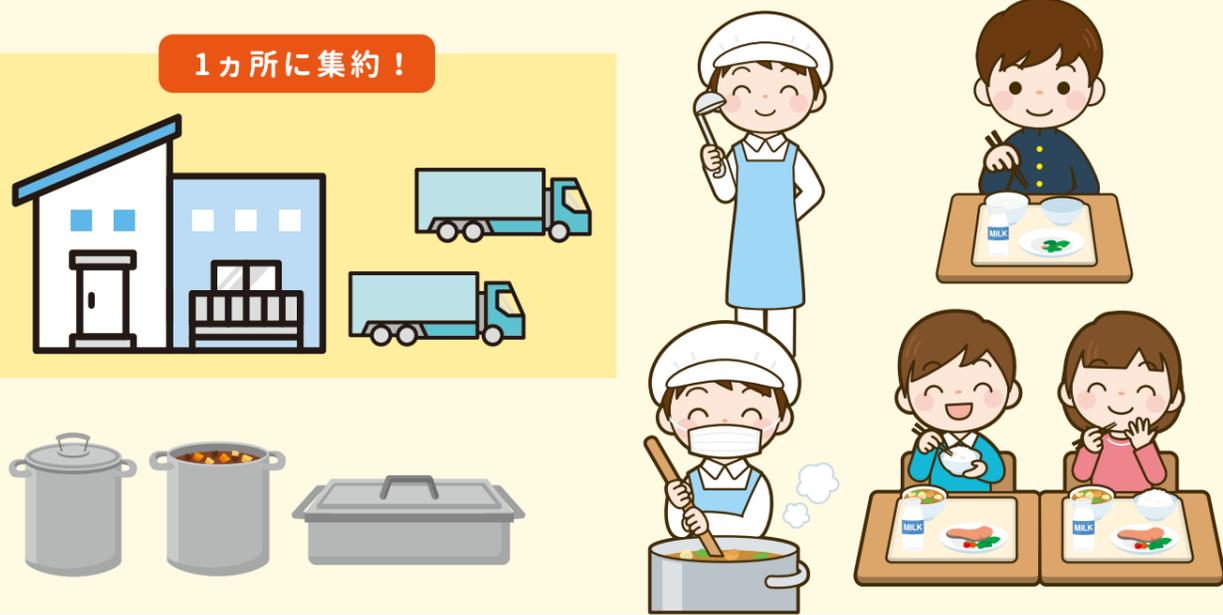
学校給食を安定して提供するため、センター方式を採用し、「永山調理所」と「南野調理所」の2施設から、市内の学校へ給食を届けています。しかし、2施設とも築45年以上経過しており、建替整備が必要な状況です。



## 検討の方向性について

現在、多摩市では2つの学校給食センターで給食を提供していますが、将来的な児童・生徒数の減少を見ずえ、施設のあり方そのものを見直す必要があり、学校給食センターを1施設に集約します。施設を集約することで、効率的な設備整備や運営が可能となり、将来の変化にも柔軟に対応します。

1カ所に集約！



## 地域を支える食の拠点として

あらたな学校給食センターは、給食をつくる施設としてだけでなく、防災対応など、地域を支え続ける「食の拠点」として整備することを目指します。これまでの給食の取組みを大切にしつつ、将来も安定的に給食を提供できるよう、まちづくりに必要な「都市計画施設」として位置付けることを検討しています。



## 基本理念

子どもたちに安全でおいしい給食を安定して届け、  
地域とともに食を通じた豊かなまちづくりを進めます

## 子どもの成長に合わせた給食の提供

これまで多摩市の給食は、小学1年生から中学3年生まで同一献立の「2コース制」で提供してきました。今後は、成長段階に合わせたよりきめ細かな給食を目指します。

あらたな学校給食センターでは、  
小学校：2コース、中学校：1コース  
の3コース制を採用し、味付けや量などを工夫していきます。

## 1献立4コース 小学校・中学校 共通

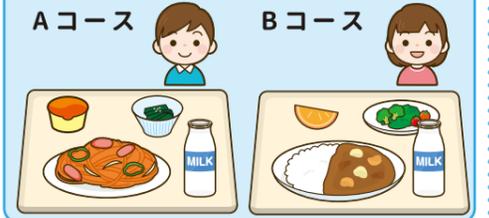
永山Aコース  
永山Bコース  
南野Aコース  
南野Bコース



## 小学校献立 2コース制

Aコース

Bコース

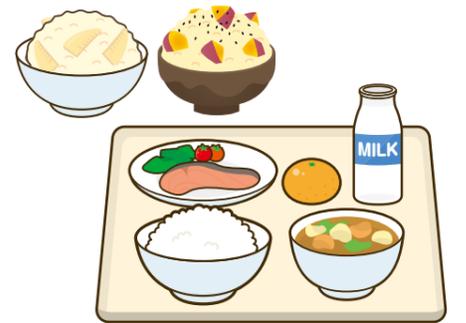


## 中学校献立



## できたてのごはんを提供

炊飯機能をあらたに導入することで、味ごはんや季節の行事食など、より多様な米飯メニューを提供することが可能となります。また、具材の量や種類を柔軟に調整できるため、食物アレルギーへの配慮を含めたきめ細かな内容がしやすくなります。さらには、炊飯機能の導入により、発災後の食事提供を支える機能を向上し、災害時に炊き出しなどの対応を実施します。



## 献立や食材に応じた調理工程の工夫

可能な範囲で手づくり調理を基本としながら、バランスのとれた給食づくりを目指します。献立や食材に応じた調理をいっそう進めていきます。



## 一人ひとりに配慮した給食

食物アレルギーのある児童・生徒への対応をこれまで以上に充実させていきます。専用スペースの設置や調理工程の工夫に取り組みます。



## これからに向けて

子どもたちの健康と成長を第一に考え、まちづくりに必要な施設として、学校給食センターの整備を進めていきます。  
検討状況は、広報紙などを通じてお知らせしていきます。

# 公共施設のミライについて 市民の皆さんと検討を進めています

【問合せ】  
行政管理課  
☎042-338-6948

公共施設のミライについて行政だけで検討するのではなく、施設周辺にお住まいの市民の皆さんたちの声をいただきながら検討を進めています。

「この地域には今後、どのような機能が必要？ほしい？」「この施設はどのように運営したらいい？」などの課題について市民の皆さんが話し合い、課題解決に向けた意見を出し合う場としてワークショップをはじめとしたさまざまな市民参画の手法を取り入れています。

## 取組み事例

### 豊ヶ丘複合施設のミライについて検討しています

豊ヶ丘複合施設の建替を計画しており、建替後の施設の使い方について、地域の皆さんが意見を語り合う場を設けています。様々なテーマで開催しており、次回は2026(令和8)年6月6日(土)開催予定です。



行くと誰かがいるような  
施設になるといいな



### 東寺方複合施設のミライについて検討しています

東寺方自治会、施設利用者、児童の保護者等で構成される「東寺方複合施設整備に向けた地域協議会」で検討している内容を地域の方々に報告し、協議会員以外の参加者も交えて意見交換をしています。

多世代が交流できる  
施設になってほしいな



今後も様々な機会を通じて市民の皆さんのご意見とともに、  
ミライに向けてより良い公共施設をつくっていきます。

発行：多摩市 〒206-8666 東京都多摩市関戸6丁目12番地1  
編集：行政管理課 電話：042-338-6948(直通) FAX：042-337-7658

